

東議員（民主県政会）

令和2年5月28日  
教育長答弁実録  
（教育委員会）

（問）学校休校が与えた子どもたちの不安への支援について

学校再開に当たっては、子どもたちへの声かけ、健康チェックなど、しっかりと時間をかけた支援が必要であり、県教育委員会として支援していくためには実態把握が必要と考えるが、教育長の所見を伺う。

（答）

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休業が長期化し、家庭で過ごす時間が増えたことで、児童生徒が生活リズムを乱すことや不安や悩みを抱えることにつきましては、課題であると捉えております。

こうした課題を解決するため、児童生徒の実態把握は重要であると考えており、県教育委員会では、県立学校及び市町教育委員会に対して、電話連絡や家庭訪問等による児童生徒の心身の定期的な状況把握が進むよう指導しているところでございます。

また、各学校におきましては、学級担任や養護教諭による教室巡回や個別の面談を行うなど、児童生徒の状況把握に努め、気になる児童生徒には、個別の状況に寄り添った心のケアを行うなど、きめ細やかな対応を行っているところでございます。

今後とも、学校再開に向けて、市町教育委員会との連携や学校訪問等を通して、児童生徒の実態把握に努めるとともに、心理や福祉等の専門的知見も踏まえた助言等を行い、児童生徒が安心できる学校体制の構築に向けて支援してまいります。